

【 ファシリテーターの活動状況 】

第3回地域包括ケア専門職“絆”研修②生活支援「在宅療養中」

- 日時 平成30年11月11日（日） 9：15～12：30
- 場所 東部医師会館3階研修室
- ◎ 研修参加者 48名（内多職種研修WG関係者4名）：8グループ
- ◎ 参加ファシリテーター 10名

※10/23, 10/31, 11/7 に事前準備を行い、研修当日最終打合せ後に研修にのぞみました。研修当日参加ができない委員で自身のフォローアップとして片山あずさ委員の参加がありました。

※事前準備の中でプレゼンテーションのマイクロティーチングを「双方向性講義のためのスキルチェックリスト」を利用して行います。進行ディレクターを足立誠司医師・山根綾香委員が行いました。



◆地域包括ケアについて・アイスブレイキング（草刈美鈴委員：鳥取県立中央病院 看護師）



◆ワーク①の進行とプレゼンテーション（足立誠司医師：鳥取市立病院）



◆ワーク②の進行とプレゼンテーション（山根綾香委員：鳥取市立病院 看護師）



◆ファシリテーターの自己評価（一部抜粋）

1. ファシリとして良くできたと思うこと、このままやっていこうと思うこと

- ・グループワークのマナーの紹介が出来、スムーズな流れができた。
- ・グループワークの目的(ACPを通して考えるなど)を意識し介入したこと
- ・グループワークの討議が行き詰った時に課題を掘り下げられる促しができた。

2. ファシリとして今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

- ・ガイドラインについて知らない参加者が多い事を把握したにも関わらず、ガイドラインについての補足説明が出来なかった。（たぶん、上記に記載したように次のスライドを覚えてなかった事で気持ちが焦り始めたのだと思います）参加者の背景を事前に把握しておくのは難しいが、知らない人が多い場合は補足説明をするなど、予め自分の中で想定して準備しておく必要があった。（プレゼンターとして）
- ・今回から新温泉町の方が参加していただけだったので、地域性などもグループワークの中にワードとして入れる事ができたらと考えています。
- ・事前に参加者の名前や職種を把握し、コミュニケーションをとれば良かった。

3. 研修参加者にとって何が・どんなことが一番よかったか

- ・ ACP について考える時間を持てた事、色々な人の考えを聞いた事
- ・ グループワークは、全員が役割をもって運営でき、良かったです。
- ・ 専門職（医師、病院看護師、薬剤師、ケアマネ、マッサージなど複数の職種）がそれぞれの専門的な立場で幅広い意見の交流があった。メンバーは職種や経験など多彩で良かった。また、自分の発言内容と他者の考えなどを見なおして気づいたことの発言もあり素直な意見交換ができて良かった。

4. 研修参加者にとって何が・どんなことが良くなかったか

- ・ グループワークの人数が4~7人と偏ってしまったけど、少人数の方が意外に意見交換が活発に出来ていたように見えました。グループワークの内容にもよりますが、5人程度が良いのかなあと感じました。
- ・ 全体的にグループワークは円滑に進行出来ていたのですが、時折り全体に向けての意見を発信するのではなく、2人のみで会話する時間があったので、個別での意見も全体に反映できるように加入できたら良かったと思います。
- ・ 良い事を言わなくてはいけないような、緊張されていたような感じを受けもう少し場が和むと良かった。

5. 研修までの準備に関する感想

- ・ 事前打ち合わせで確認する事で、当日安心して行う事が出来るので大切だと思う。
- ・ 月末に準備日が設定されており、準備に不参加となった事で不安がありました
- ・ ファシリ経験者が多く、始めてファシリを経験する場合は、事前準備にいて行けない状況があると思う。ファシリ参加者に応じ、事前説明も必要。

6. その他（感想・意見）

- ・ だんだんと慣れてきて、色々考えながら少しゆとりを持って出来るようになったという面と、参加者がその都度違うので、やっぱり大変だなと思う面があり、参加するたびにとても勉強になります。
- ・ グループワークの際、付箋や模造紙を使用してはどうでしょうか？
- ・ 新温泉町のケアマネ参加があり、生活圏域には多少なり地域差があるので、意見のずれはないかと心配でしたが、全く違和感はなかった。
- ・ ファシリテーターも新しい方にどんどん参加して頂けたらと思います。

